

新時代に向けた産業振興と 技術革新のために

当センターは、農工振興を目的に明治6年、盛岡市内丸で岩手県勸業試験所としてスタートした、今年で146年目を迎える日本で最も古い公設試験場です。

その後、幾たびかの組織変更、名称変更を経ながら、平成6年に岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場の両試験場が統合され、現在の場所に岩手県工業技術センターとして開所しました。平成18年4月には、全国公設試験場初の地方独立行政法人としての歩みを開始しました。

現在は、「創るよろこび」を共有しながら産業振興と県政課題解決の両面において「地域貢献」することを基本理念として、第3期中期計画（平成28年度～令和2年度）に基づき、経営資源の一層の効率的・効果的配置等による機能強化と安定的な業務運営を図りながら、質の高い基本サービスとともに、震災復興支援や地域産業

の成長支援などの県政課題の解決に繋がる取組等を通じ、企業の成長や地域社会の発展に貢献することを目指し、ロボット技術や三次元ものづくり技術等のものづくり分野から漆や県産乳酸菌の利活用等の地域産業分野まで様々な業務を行っています。

特に、昨年4月から運用開始している「ものづくりイノベーションセンター」では、ものづくり試作開発のトータルサポートを目指して、東北地方の公設試験場では初となる大型電波暗室を核とした医療機器や車載電装品など幅広い分野でのEMC（電磁両立性）適合確認試験、CAD/CAM/CAEを活用した三次元デジタル設計から金属3Dプリンター等による試作・加工のほか、ロボットやIoT機器の開発・試作・評価等を行っています。

また、本年4月には、新商品開発等にお



地方独立行政法人
岩手県工業技術センター
理事長

木村 卓也

けるデザイン活用への支援強化の拠点となるデザインラボ「IIRI DESIGN LAB (De・i (デ・アイ))」を開設し、セミナー等の開催、企画から販売までの商品開発支援、デザイン手法・製品技術の研究開発などの活動に取り組んでいます。

そして、今年度はヘルスケア関連産業の拠点形成を図るため、関連企業の産学官金連携や交流、共同研究開発の活動の場として、貸研究施設の整備を進めているところです。

世界のものづくりはIoTの進展や生産現場のロボット化など大きな変革期を迎えています。県民の皆様から信頼され必要とされるセンターを目指し、今後もより一層の技術・研究資源の充実を図って参りますので、引き続き、ご活用とご協力をお願いいたします。